

俳句
ことぶき俳句会

かりかりと声を残して鳥帰る
来客に吠えるペットや春暖炉
病棟の廊下の暗き春の風邪
福寿草春がきたかと顔を出す
希望校の合格知らせる春の暮
冬窓のゼラニウムの花三つ
とり雲の漁港にもどる竣工船
春めくもこもる毎日空の青
待つ春の雨降りてきてかりんとう

稲田 文江
大山さよ子
越坂 順子
徳地はつ子
橋本 葉子
福澤 米子
福原 仁子
宮部あき子
高橋 悦子

川柳
浦幌川柳会

金婚の勲章刻んだ皺の数
ときめきを探せば忘却つきあたる
春の陽に恋の詩を待つ猫やなぎ
人生を多様に生きる友の顔
吹く風にお金の飴と鞭が跳び
出無精に家が一番足なげて
さり気無く身の幅で生きる辞書を抱き

山村 幹雄
白木二十重
竹村 鮮明
星 愛子
加藤 未貴
橋本 葉子
阿部 麗紅

川柳
上浦幌句の会

ベランダに手形残して曾孫^{ひ孫}帰る
独居老い凍てつく空の星となり
日記帳書けずに閉じた過去の彩
歯が抜けて御節虚しきお正月
凧上り子供の様にはしゃいで
チェンジーと海の向うから声がする
寒の雨豊作願ひ空仰ぐ

福田すま子
芳川 乙美
広瀬マサヨ
朝日ヒロエ
河村みよ子
大西 功
山田エツ子

短歌
浦幌短歌会

峠越えしたのであろう雪まみれ大型トラック朝の国道を
告別の数珠帯はじめにはみつ風なまぬるき道を急げり
川べりを離れふわふわ浮き氷雪解の水に押されて海へ
誰かこよ雛の掛け軸活けし桃八分咲きなり朝日が光る
春あらし雨を伴い窓を打つ自然の息吹き大地を包む
弥生の空どこまでも清しくて風も静かな昼下がりがかな

後藤 年子
高橋 悦子
長谷川アキ
福澤 米子
星 愛子
山崎 阿己

編集後記

■表紙の写真は、浦幌小学校の入学式です。新一年生の笑顔はまぶしいですね。キラキラしていました。明日からの学校生活が楽しみなんです。と同時に驚いたのが色とりどりのランドセル。自分の頃は赤と黒しか無かったなあと時代の流れを感じました。(笑)

■暖かい日が多くなりましたね。日中外に出ると優しい気候に癒されます。

■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡下さい。